男子ホッケー ワールドリーグ ラウンド 2

日　付	2013年6月1日 15:00～16:20		
場　所	ロシア・エレクトロスタール	天　候	晴れ
試　合	第4戦	通算結果	4勝

Country	RESULT			Country
日本 JAPAN	Full Time	3	－ 1	ロシア RUSSIA
	Half Time	1	－ 1	

Start	No.	Name	Card
✔	1	高瀬克也(GK)	
10	2	大野一平	
✔	3	粥川幸司(C)	
✔	4	小野知則	70'Y
✔	6	河内伸仁	
	7	森嶋彬(GK)	
✔	8	塩川直人	
✔	10	中山康大	
✔	11	川上啓	
7	12	藤本一平	
✔	15	山下学	
✔	16	畠山学	
8	18	井島光希	53'G
6	20	川上良平	
✔	29	山部晃嗣	
7	30	吉原平太	
✔	32	橘敏郎	
監督		KANG KEONWOOK	
UMPIRE		ANDREW KENNEDY(ENG)	

Start	No.	Name	Card
	1	GAFAROV MARAT(GK)	
✔	2	MOKROUSOV EVGENY	
34	3	NIKITIN KONSTANTIN	
11	4	BORISOV ARTEM	
✔	5	KOROLEV ALEXANDER(C)	
✔	6	CHERENKOV ALEXANDER	
✔	7	KOMAROV NIKOLAY	
8	8	PLATONOV Nikolay	
✔	10	GOLUBEV PAVEL	38'Y
44	11	PALYANITSA ALEXANDER	
✔	12	KOSTAREV Sergey	
11	13	PLESETSKIY PAVEL	
22	14	SHCHIPACHEV DENIS	
✔	17	YANKUN NIKOLAY	
✔	18	ROGOV ROMAN(GK)	
✔	19	LOGINOV LAROSLAV	51'Y
✔	21	AZAROV DMITRY	30'G
✔	22	MAYOROV ALEXEY	
監督		VLADIMIR KONKIN	
UMPIRE		DAVID SWEETMAN(SCO)	

Country	Min	Name	Action	Score
JPN	9	吉原平太	FG	1-0
RUS	14	AZAROV DMITRY	FG	1-1
JPN	45	畠山学	PC	2-1
JPN	66	河内伸仁	FG	3-1

Country	Min	Name	Action	Score

ワールドリーグラウンド2第4戦目は地元ロシアと全勝チーム同士の対戦である。日本は入念なミーティングを何度も重ね、十分な対策を講じて臨んだ。
（前半）
試合開始から両チーム攻守が激しく入れ替わる展開となる。日本は9分レフトロングコーナーから川上啓がサークルへワンタッチでボールを流すと、こぼれ球を拾った吉原が、ロシアDFとGKをリフティングで抜き去り先制点を奪う。しかしロシアは14分中盤で日本からボールを奪うと、スピードに乗ったカウンターから一気に日本サークル内に侵入すると、最初のシュートはGK高瀬が身体を張って防いだものの、混戦の中からリバウンドを拾ったAZAROV DMITRYがゴール中央へプッシュシュートを叩き込み、ロシアは同点に追いつく。その後も両チームお互いにゴールに迫るが、得点には至らない。前半終了間際にロシアはレフト23mライン手前からサークルにボールを流しPCを得る。このPCは1番騎山下がスティックで見事に防ぎ、息が詰まる白熱した試合は同点のまま試合は後半へ。
（後半）
後半立ち上がり早々日本はロシアにPCを与えるも、バリエーションからのドラッグフリックシュートを4番騎の粥川が冷静に処理する。39分日本はセンターライン付近から粥川がロングボールを通すと山部がワンタッチで角度を変えPCを取得するが、橘のドラッグフリックシュートは4番騎にセーブされる。しかし更に日本は44分ライトのサークル手前のフリーヒットで、小野からのパスを川上啓が前半同様ワンタッチでサークルへ流すとPCを取得。この試合日本の4本目となるPCは、畠山がGKの股間を抜くドラッグフリックシュートを決め、日本は勝ち越しに成功する。その後ロシアにイエローカードが出され日本は数的優位になるが、負ければ後がないロシアは怒涛の攻撃を開始する。57分にはロシアはカウンターでレフトからサークルに侵入するとプッシュシュートはゴールポストを直撃し、日本は難を逃れる。61分にはあわやオウンゴールという場面も小野がカバーし得点を与えない。65分にも日本はロシアにPCを奪われるがドラッグフリックシュートをGK高瀬が右横へのダイビングで防ぐと、こぼれ球から日本は一気にカウンターを仕掛け、小野からのロングボールがサークルトップの橘に渡ると、状況をよく見た橘はリバースシュートと見せかけ、セカンドポストの河内へパスを送り勝利を決定付ける3点目を奪う。このまま3-1で試合終了。
日本は警戒していたロシア個人技とカウンターアタックから1点を奪われたが、PC守備においては前日のミーティングでロシアの攻撃パターンを完全に見極めており、6本奪われたがPCからの失点を許さなかった。この試合の選手の集中力は凄まじいものがあり、同点に追い付かれた後も動揺せず落ち着いたプレーを展開し、勝ち越しに成功した。特に守備においてはキャプテン粥川、GK高瀬を中心にチーム全員が守備を怠らず、勝利を手にした。
この試合の結果、日本は最終戦を待たずにワールドリーグセミファイナル行きが確定した。

日本	13	シュート数	16	ロシア
	6	PC数	6	

次戦（第5戦）6月2日（日）12:45～　日本　対　オーストリア　　記載責任者：男子コーチ　藤原　信幸